

Global Peace Leadership Program

説明資料



**2017年度から展開している
特定プログラムです。**

広島大学が掲げる理念のひとつ「平和を希求する精神」に基づき、平和を追い求める精神を育み、海外留学を通して**国際的教養人**として世界で活躍できる力を育成する教育プログラムです。

1学年あたりの定員は20名程度です。

特定プログラムとは？

主専攻プログラムでは専門的に扱わない分野の学習や資格の取得を目的としたプログラム

- ◆ 高度な英語能力を養成するプログラムや学芸員・社会調査士のための資格を取得するプログラムがある。
- ◆ 主専攻プログラムの履修基準によっては、特定プログラムで修得した単位を卒業要件に算入することができる場合がある。
- ◆ 特定プログラムの修了要件単位を修得し、卒業又は離籍した場合に修了することができる。
- ◆ プログラムの詳細情報は「説明書」に記載してある。



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/prog/program/tokutei>

カリキュラムについて

Global Peace Leadership Program のカリキュラムは次の6分野から構成されています。 () 内の数字は要修得単位数です

1. 留学支援英語 (4単位)

英語で他者とディスカッションする能力を養成し、TOEIC(R)テストで800点レベルに到達することを目標とします。

2. 平和科目 (2単位)

英語で開講される平和科目により、国際紛争、国際協力(協調)、人権問題等の様々な観点から平和について考え、理解を深めます。

3. 国際交流科目 (2単位)

被爆地ヒロシマの地域性を理解し、さらにチームワークやリーダーシップ、プレゼンテーション能力といったグローバル化社会で必要となる能力を習得します。

4. 日本文化群 (4単位)

日本文化を美術、芸術、工芸等様々な視点から捉え、その基本的知識を身につけ、理解を深めます。

5. グローバル・キャリア・デザイン (2単位)

インターンシップやボランティア活動などを通じて、グローバル人材に求められる課題発見解決力・リーダーシップ力を養成します。

6. 海外留学

プログラム修了時の
到達目標スコア

TOEIC(R)
800点



各分野の授業科目

履修年次が「1年次」となっている授業科目でも、2年次以降で履修可能です

1. 留学支援英語（4単位）

授業科目名		単位数	履修年次 (開講期)	開講部局
Advanced English for Communication (※1) 履修を推奨		1	1年次(1~4T)	教養教育科目
英語運用能力強化科目群 (※2)	英語語彙運用スキルアップ I, II <語彙力の強化>	各1	2年次(1,2T)	外国語教育 研究センター
	英語口頭表現スキルアップAI, AII, BI, BII <音声を使ってのコミュニケーション力>	各1	2年次(1~4T)	外国語教育 研究センター
	英語文章表現スキルアップAI, AII, BI, BII, CI, CII <文字を使ってのコミュニケーション力>	各1	2年次(3,4T) 3年次(1~4T)	外国語教育 研究センター
	英語口頭発表スキルアップAI, AII, BI, BII <プレゼンテーションの演習>	各1	3年次(1~4T)	外国語教育 研究センター
	英語読解スキルアップ (※3) <リーディング力>	1	2年次(前期集中)	外国語教育 研究センター
	英語聴解スキルアップ (※3) <リスニング力>	1	2年次(後期集中)	外国語教育 研究センター

(※1) 「Advanced English for Communication」の履修を強く推奨します。

(※2) 授業科目名欄の<>内は、各授業科目で修得を目指す能力です。自分が強化したい能力を考慮し、授業科目の選択してください。ただし、履修前にシラバスで必ず詳細な内容を確認してください。

(※3) 2026年度不開講

2. 平和科目（2単位）

授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開講部局
Visualization of War	2	1年次 (2T)	教養教育科目
Atomic Bomb Survivors (Hibakusha) and World Peace	2	1年次 (2T)	教養教育科目

Notice !

平和科目は、どの学部においても2単位選択必修となっており、上記科目の単位を修得すれば、本特定プログラムの修了要件と卒業要件の両方に含めることができます。

各分野の授業科目

3. 国際交流科目 (2単位)

授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開講部局
観光地理学	2	1年次 (3T)	教養教育科目
INU Special Intensive Course	2	1年次 (前期集中)	教養教育科目
Regional Geography of Japan	2	1年次(4T)	教養教育科目
Contemporary Issues of Japan	2	1年次(1T)	教養教育科目
Learning Hiroshima: Intercultural Fieldwork (地域社会を学ぶ：異文化間フィールドワーク)	2	1年次 (前期集中)	教養教育科目
Multiculturalism in Japan (日本のマイノリティ)	1	2年次(1T)	総合科学部
World Englishes (世界の英語)	1	2年次(2T)	総合科学部
Japanese Tourism I (日本の観光 I)	1	2年次(4T)	総合科学部国際共創学科
Japanese Tourism II (日本の観光 II)	1	2年次(4T)	総合科学部国際共創学科
Introduction to Education in Japan (A) (※)	2	1年次(1T)	教育学部
Introduction to Education in Japan (B)	2	1年次 (3T)	教育学部
Study on Japanese Companies and Social Entrepreneurship	2	1年次(2T,3T)	森戸国際高等教育学院

次のスライドに
留意事項あり！

履修を希望する場合は
いずれか1つのみ

「INU Special Intensive Course」履修にあたっての留意事項

「INU Special Intensive Course」は、INU学生セミナーにおける講演・講義・グループワーク等の全プログラム(例年8月に10日間程度)に参加し、終了後にレポートを提出します。INU学生セミナーとは、海外のINU加盟大学の学生が広島に集まり、著名なゲストスピーカーとのディスカッションやワークショップ等を通じて、Global Citizenshipについて考え、討議します。



(参考URL: INU学生セミナー「地球市民と平和」)

https://www.hiroshimau.ac.jp/international/network/inu/inu_exchange/seminar_peace

**2026年度の実施及び申込方法については
詳細が決まり次第、「もみじ」でお知らせ
があります。(5月中にお知らせ予定)**

各分野の授業科目

4. 日本文化群 (4単位)

授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開講部局	授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開講部局
地理・考古・文化財の世界	2	1年次(2T)	教養教育科目	Japanese Religious Culture II (日本宗教文化 II)	1	2年次(3T)	総合科学部 国際共創学科
比較宗教学	2	1年次(3T)	教養教育科目	歴史学入門 A	2	1年次(3T)	文学部
Japanese Religion A	2	1年次(4T)	教養教育科目	日本・中国文学語学入門	2	1年次(3T)	文学部
Japanese Religion B (※)	2	1年次(4T)	教養教育科目	地理学・考古学・文化財学入門 B	2	1年次(4T)	文学部
Introduction to Japanese Thought	2	1年次(3T)	教養教育科目	地理学・考古学・文化財学入門 C	2	1年次(2T)	文学部
Japanese Arts and Aesthetics (日本の美学と芸術) (※)	1	2年次(未定)	総合科学部	日本語の語彙と意味	2	2年次(2T)	教育学部
Japanese Buddhism (日本の仏教)	1	2年次(4T)	総合科学部	社会言語学	2	2年次(2T)	教育学部
Japanese Popular Arts and Culture I (現代日本文化論 I) (※)	1	2年次(未定)	総合科学部 国際共創学科	日本文学と文化	2	2年次 (前期集中)	教育学部
Japanese Popular Arts and Culture II (現代日本文化論 II) (※)	1	2年次(未定)	総合科学部 国際共創学科	日本美術史概説	2	2年次(2T)	教育学部
Japanese Religious Culture I (日本宗教文化 I)	1	2年次(3T)	総合科学部 国際共創学科	Cross Cultural Studies on Education	2	1年次(2T)	教育学部

※ 2026年度不開講

各分野の授業科目

5. グローバル・キャリア・デザイン (2単位)

授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開講部局
地域社会探検プロジェクト - インターンシップ・ボランティアを体験してみよう -	2	1年次 (後期集中)	教養教育科目
インターンシップ科目単位認定	各学部による		

インターンシップ単位認定制度の有無及び認定のための条件は、
 学部ごとに異なります。
 単位認定を希望する方は所属学部支援室で確認してください。

海外留学 (1)

Global Peace Leadership Programの修了要件として、海外留学プログラムに参加することを必須としています。

◆**留学時期は2年次以降で、留学期間は2カ月から半年程度が目安です。**
(具体的な留学時期等は選択する留学プログラムにより異なります)

◆**留学費用の一部を大学から支援します。**

※海外留学時に、日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度による奨学金に申請できます。また、大学からも渡航支援費を支給します。ただし、留学要件となる単位を修得していることが条件となります。計画的に履修してください。

海外留学プログラムへの参加及び留学費用の支援を受けるためには、以下の要件を満たす必要があります。

留学支援英語

3単位又は大学
入学後の
TOEIC®スコア
が730点相当

(修了要件：4単位)

平和科目

2単位

(修了要件：2単位)

国際交流科目

2単位

(修了要件：2単位)

日本文化群

2単位

(修了要件：4単位)

- ◆ 留学プログラムによっては上記の他に要件が課される場合があります。
- ◆ 留学費用の支援内容は、今後、登録者を対象に随時お知らせします。

各学部が推奨する海外留学

総合科学部

学内留学プログラム(HUSA プログラム等)を推奨。
派遣先の大学において学習、異文化体験、語学の実地修得等を目的として、概ね1学年以内の1学期又は複数学期教育を受けて単位を修得する。留学先で現地の学生と同じ授業を受講し、語学力の向上や専門知識の修得を目指す。

文学部

HUSA プログラムを推奨。派遣先の言語・文化を理解しつつ、ハイレベルな国際感覚、批判的思考などを身につけ、日本語や英語を駆使して日本と世界の橋渡しができる人材の教育を目的とする。

教育学部

HUSA プログラムを推奨。
派遣留学先は、各プログラムの指導教員等との相談で決定。

法学部

大韓民国・崇実大学校法科大学への留学を推奨。
英語による法律科目の受講及び国際法律模擬裁判への参加などを通して、語学能力の向上だけでなく、専門知識を英語で学び、それを積極的に活用できるグローバルな法学人材の養成を目的とする。

経済学部

HUSA プログラムを推奨。日本とアジアの市場経済システムにおける制度的・文化的相違を理解し、グローバルに適用する論理的思考力を備えた、アジア全体の安定した経済発展に貢献できる人材の育成を目的とする。

理学部

派遣留学先は、主専攻プログラムの教員等との相談で決定。
派遣大学としては、アジア地域、欧米地域を予定している。

工学部

HUSA プログラムを推奨。
派遣留学先は、各プログラムの指導教員等との相談で決定。

生物生産学部

タイ・カセサート大学農学部及び協定学部への留学を推奨。英語による専門科目を履修することともに、国際的な研究やその成果発表を英語で行うことができるよう養成する専門的な英語教育や、グローバル人材育成教育を目的とした国際課題研究を履修。また、授業の履修に加え、カセサート大学が主催するインターンシップに参加し、生物資源の生産から加工、流通、消費まで総合的に学ぶ。

情報科学部

情報科学部海外協定校派遣プログラムでの留学を推奨。同プログラムの留学は4年次生のため、2～3年次生は、各プログラムの指導教員等との相談のうえ決定。

左表は、各学部・学科（主専攻プログラム）が推奨する海外留学プログラムです。（パンフレットP14から抜粋）
自分が所属する学部が推奨する海外留学プログラム以外を選択することも可能です。

広島大学には、様々な留学プログラムがあります。どんなプログラムがあるのか、しっかり情報収集を行い、自分が参加したいプログラムを見つけ、留学に向けて準備する必要があります。

(広島大学の海外留学制度)
「もみじTOP」

- 学びのサポート
- 留学・海外渡航



登録申請方法 (1)

申請期間：4月9日～5月7日

<登録申請方法>

登録申請

- 「Microsoft Forms」で、登録申請を行います。
- 申請URL：<https://forms.office.com/r/FBiiM14fqv>



- 申請時の英語運用能力についても回答してください。証明するスコアがない場合は、大学入学共通テスト又は一般選抜時の「英語」の点数を記入してください。（記入がなくても、選考が不利になることはありません。）

登録申請方法 (2)

登録申請

- 「Microsoft Forms」で登録申請を行います。

TOEIC®
L&R IP
テスト

- **全学一斉TOEIC®L&R IPテストの受験が必要！**
※TOEIC®スコアで**600点程度の英語力**を備えていることが登録要件となります。高スコアをとれば教養教育の英語科目の単位認定を受けることもできますので、入念にテスト対策を行い、臨んでください。
5月16日(土) から24日(日) に全学一斉TOEIC®L&R IPテストを実施しますが、**5月16日(土)・17日(日) の試験監督が陪席する指定の場所でのオンライン試験を受験してください。**試験監督陪席会場で受験するには、4月13日(月) までにMyもみじアンケートで事前申し込みが必要です。

登録申請方法 (3)

登録申請

- 「Microsoft Forms」で登録申請を行います。

TOEIC® L&R IPテスト

- 全学一斉TOEIC®L&R IPテストを受験
5月16日(土)・5月17日(日)に実施

結果確認

- 志望動機の評価基準を満たした方を対象に、面接審査を行います。
- 面接審査は**5月20日(水)～26日(火)**のいずれかで行います。
- 面接審査の実施の有無および面接日時は、「Myもみじ」個人掲示板で通知します。
- **志望動機、面接審査等**に基づいてプログラム担当教員会で登録審査を行い、「Myもみじ」個人掲示で登録可否を通知します。

選考方法・選考スケジュール

1. 英語コミュニケーション能力の確認

全学一斉TOEIC® L&R IPテストの受験結果を参考に、英語コミュニケーション能力を確認します。

2. 志望動機の評価

申請者全員の志望動機をプログラム担当教員会で評価し、面接審査対象者を決定します。

3. 面接審査

面接審査対象者に対して10分程度の個人面接を実施します。具体的な日程は「Myもみじ」個人掲示でお知らせします。

**1～3に基づき、面接審査対象者から登録許可者を決定します。
また、全学部を対象としているプログラムであるため、特定の学部・
学科に登録許可者が偏らないよう選考を行います。**

<選考スケジュール>

- ・ 4月9日～5月7日 登録申請（面接審査の参加可能日時も併せて回答していただきます）
- ・ 5月20日～5月26日 面接審査
- ・ 6月上旬 審査結果を「Myもみじ」個人掲示で通知

時間割作成における注意事項

- Global Peace Leadership Programは、所属する学部・学科を卒業するための授業科目と並行して、特定の分野を専門的に学ぶ特定プログラムの一つです。
- 所属学部が定める卒業要件や履修条件を満たしつつ、本特定プログラムの修了要件や留学要件となる授業科目を履修していく必要がありますので、綿密に履修計画（時間割）を立てる必要があります。
- 1年次前期に履修できなかった場合でも、1年次後期や次年次以降に授業が開講されていれば履修は可能です。開講期（曜日や時限など）については「Myもみじ」で最新のシラバス情報を確認してください。
- プログラムへの登録可否は6月上旬（第1ターム末）にお知らせします。結果を確認し、必要に応じて第2タームの履修登録修正期間に時間割の変更をしてください。

第2タームの履修手続期間

6/8の0:00から6/15の23:59まで

※ただし、以下の科目は修正・削除の対象外です。

- ・前期セメスター科目
- ・第1タームの調整期間で抽選された第2ターム科目
- ・第2ターム以降に開講される集中講義のうち、第2ターム履修手続期間では修正・削除を行わない科目

■全学一斉TOEIC® L&R IPテスト

広島大学では、英語能力を入学時から卒業時まで同じ基準で継続的に測定することを目的として、学部生は全員在学中に**TOEIC® L&R IPテスト**を受験します（全学一斉実施は年2回）。全学一斉IPテストの受験料は無料（大学負担）です。

（全学一斉TOEIC® L&R IPテストについて）

「もみじTOP」 → 学びのサポート
→ TOEIC(R)L&R IP情報



■TOEFL iBT®,IELTS™

海外の大学へ留学する際、授業に参加できるレベルの語学力を有している証明として、申請時に語学能力試験のスコア提出が求められます。大学によって異なりますが、TOEFL iBT®,IELTS™等のスコアが必要です。留学の申請に間に合うよう、余裕をもって受験しておきましょう。

広島大学が掲げる理念のひとつ「平和を希求する精神」に基づき、平和を追い求める精神を育み、海外留学を通して**国際的教養人**として世界で活躍できる力を育成する教育プログラムです。

問い合わせ先

不明な点や分からないことがあれば、
以下にお問い合わせください。

教育推進グループ（学生プラザ3F）

Mail : gsyugakukm-group@office.hiroshima-u.ac.jp